

書き方教室

六月より月に一度、書き方教室が開かれるようになりました。予想以上の盛況ぶりです。時には教室内に入りきらないこともあります。参加された利用者は皆、真剣な表情で取り組んでいます。先生から〇をいただいたときの、とてもうれしそうな顔が印象に残ります。

廊下にみんなの作品を展示したよ♪



真剣！！

うまくなるぞー！！

みんなのやる気がきらりと光ります☆

この教室では、もっと個人に合った指導をしていき、皆さんの力を伸ばしていきたいらと思っています。皆さんの楽しみの一つになればいいですね。

もりたに ひでこ
守谷 英子 先生

(ボランティアでご協力いただいています。)

お花教室



7月より湯浅先生にボランティアでお越しいただき、お花教室が開かれています。参加された利用者の方々は、用意されたオアシス(お花をいけるスポンジ上のもの)に各自お花を生けます。皆さん普段はなかなか見られない程、穏やか且つ真剣な表情で取り組んでいます。仕上がりが初心者とは思えないほど美しく、先生も驚かれています。今後毎月一回ペースで開かれる予定です。

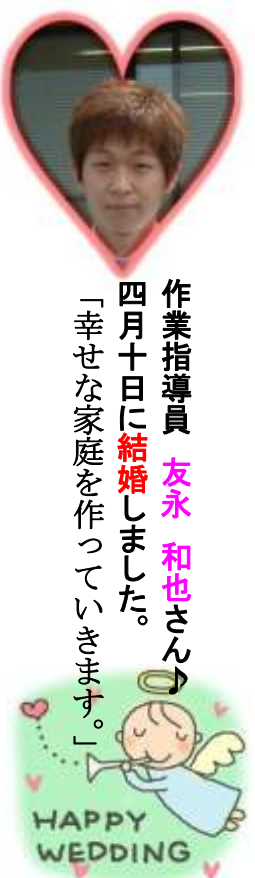


ゆあさ としき
湯浅 時子先生

お花の面白い所は、同じ材料を使っても同じ物が出来ないところにあります。何にしてもそうですが、皆さんが一生懸命に取り組む姿は本当に美しいですね。

★お祝いコーナー★ 「結婚おめでとう」!

作業指導員 友永 和也さん
四月十日に結婚しました。
「幸せな家庭を作っていきます。」



ご家族の声

従来の措置制度から支援費制度に変わり、1年4ヶ月。施設中心の福祉から地域福祉へ、当事者の自己決定に基づく福祉サービス利用制度へ転換した。利用者である障害を持つ人が自らサービスを選択し、事業者(施設)との対等な関係のもとで契約する仕組みとなっている。

さて、ポレポレ苑の支援サービスを考えると、親としては出来れば100%のサービスを望む。が、それは無理、せめて半分でもと思いつつ施設の良ところをみようとしているが、大切な子供を預けている親の目からすると、どうしても欠点の方がよく目に付いてしまう。時に支援員の利用者への態度、扱いに腹が立つことすらある。

しかしそのような時、私は率直に施設に意見を言ったほうが良いと考えている。それも施設への愛情である。ポレポレ苑はそれを真摯に受けとめることのできる施設だと信じている。

利用者達は障害があっても自立した個性をもつ一人一人の人間であり、健常者よりも素直な心を持っている。支援員も施設の関係者も初心を忘れず、施設の運営と利用者の幸をお願いしたい。私も一人の親として施設への協力は進んでやっていきたいと思っている。(川手とし子)

今号よりご家族の声を掲載させていただくことになりました。ご家族の方々、どんなことでも結構です。ぜひ忌憚のないお声をお寄せ下さい。お待ちしております。

イベントのお知らせ

八月二十九日(日)佐伯ファミリーパークにて「りんご祭り」が開催されます。ポレポレ苑も屋台を出店する予定です。是非、ご来場下さい。

心理ゲームの答え

前号に記載した心理ゲームに皆さん、挑戦して頂けたでしょうか? 気になる答えは次の通りです!

この心理ゲームでわかるのは……

A、ヨット 船に託したあなたの職業観です! さて、あなたの結果は?

B、豪華客船 他人にわずらわされたくないフリーランサー的な職業を望む。

C、タンカー 生活物資だけは最低限確保して、あとは気ままに生活することを望む。

D、宝船 一攫千金を夢見るサイドビジネスを望む。

どうだったでしょうか? 当たりましたか? また「このような楽しい心理ゲームを掲載していきたい」と思います。